「はっけん！　ノート」

日　時：平成29年12月9日（土）8：45～16：00
※小雨決行（荒天の場合、12月16日（土）に延期）

場　所：県立茅ケ崎里山公園

主　催：茅ヶ崎市環境政策課

共　催：公益財団法人 神奈川県公園協会

協　力：柳谷の自然に学ぶ会

氏　名	

里山はっけん隊！スケジュール

自然観察と発表はグループで行うよ！詳しくは行きのバスの中で説明するよ！

８：４５	集合	茅ヶ崎市役所本庁舎前
９：００	出発	
９：３０	到着	県立茅ケ崎里山公園「里の家」
１２：００	昼食	県立茅ケ崎里山公園「パークセンター」
１３：００	発表等	「パークセンター」
１５：３０	出発	「パークセンター」
１６：００	解散	市役所着

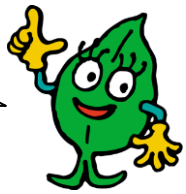
（予定）

持ってきたお弁当を食べてね。

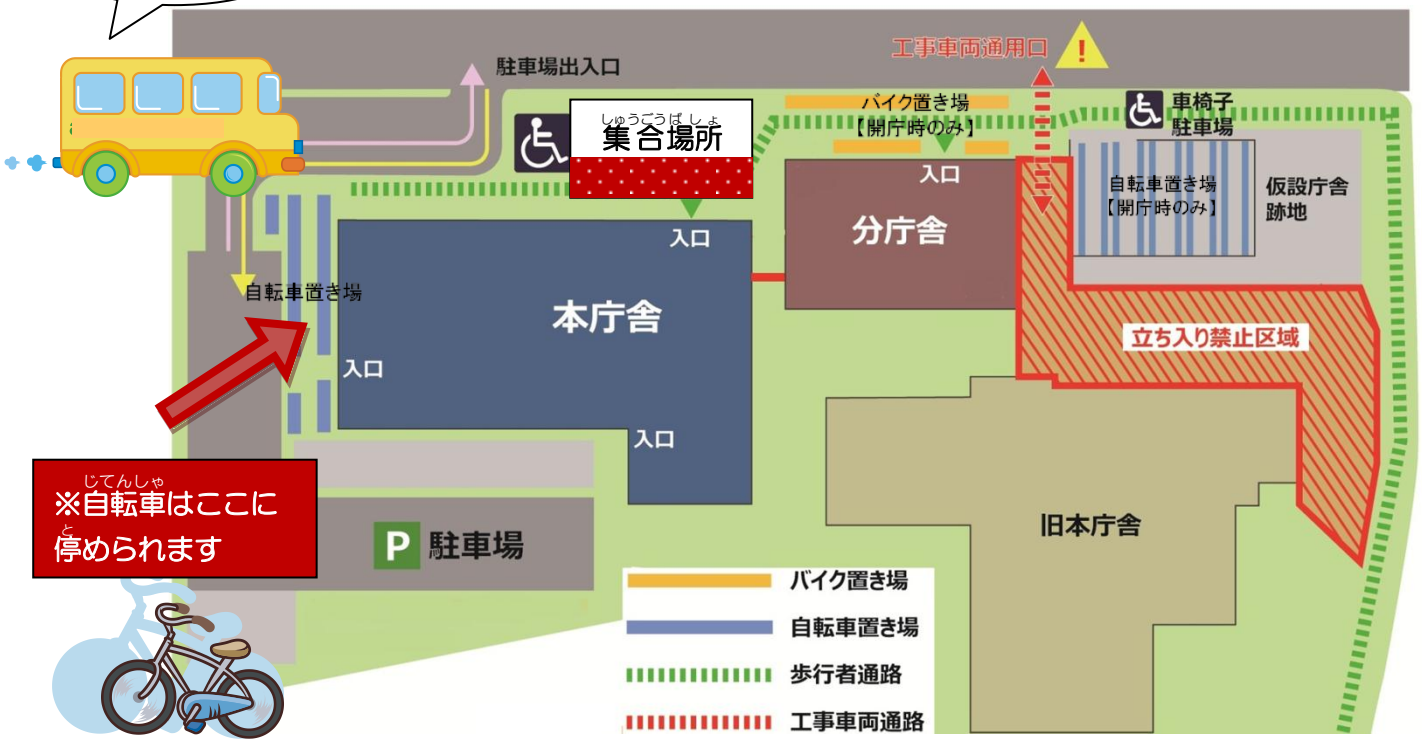
ワークショップや、今日の「はっけん！」をみんなで話し合うよ

〔集合場所〕

環境にやさしい自転車やバス、電車で来よう！



遅れないでね！



里山はっけん隊！を開始する前に・・・

◎持ち物

（必ず持ってくるもの）

□長そで　、　□長ズボン　、　□帽子　、　□お弁当　、
□水筒　、　□筆記用具　、　□長ぐつ　、　□タオル
□はっけんノート（この冊子）、□コップ（水筒のコップでも可）

（持ってくると便利なもの）

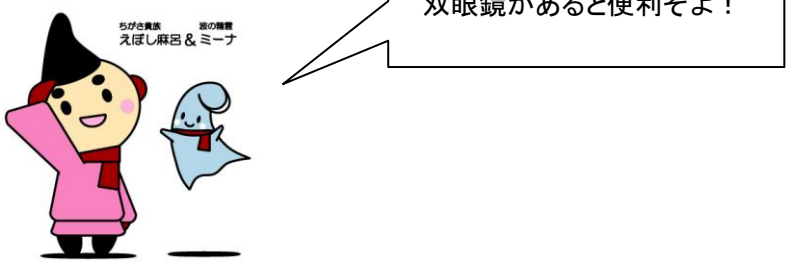
□双眼鏡（７～８倍がベスト）　、　□虫取り網　、　□デジタルカメラ　、
□雨具（天候によって）　、□絆創膏など　、　□ビニール袋　、□軍手　、
□虫除けスプレー

◎フィールドマナーを守ろう！

１．リーダーの言うことを良く聞いて観察しよう。
２．大きな音や大声を出さないようにしよう。
３．田んぼや畑には入らないようにしよう。
４．踏み荒らさないように、なるべく道を歩こう。
５．ごみは必ず持ち帰ろう。
６．危険なものには触らないようにしよう。
７．公園内ではっけんした動植物は、もち帰りと持ち出しはしないようにしよう。

◎どんな服装がいいのかな？

植物のカブレ、トゲや枝による傷を防ぐため、必ず、長そで、長ズボンを着用しましょう。
また、寒いので暖かい格好をしましょう。歩くと暖かくなるので、調節できる格好をしましょう。
田んぼに入るので、長ぐつを履いてきましょう。



みんなで守る「コア地域」

茅ヶ崎市では、市内の自然を調査して、特に重要な場所を「コア地域」と名付けて、みんなで守っていくことに決めました。「里山はっけん隊！」で行く、県立茅ケ崎里山公園がある「柳谷」も「コア地域」のひとつです。みんなで守っていくためには、その場所がどんな場所で、どうして重要なのかを知って、どうやって守っていくか考えることが大切です。

みなさんも、大切な自然環境を守るため、里山はっけん隊！で知ったことを、お友達にも教えて、みんなでどうやって守っていくか考えましょう。

柳谷

市内最大の谷戸で、市内で最も多くの動植物が確認されています。その多くは県立茅ケ崎里山公園に含まれており、一年を通じて多くの方が訪れています。水田・湿地・細流・草地などやこれらを囲む樹林が広がっています。

■茅ヶ崎市の7つの「コア地域」（特に重要な自然環境）

茅ヶ崎の四季と自然　検索

どうがはいしんちゅう
動画配信中

コア地域を中心に、自然環境の四季をとおして植物や昆虫等を数多く紹介しており、谷戸や食物連鎖等について誰にでも分かりやすく解説しています。

生態系の多様性

日本には9万種類以上の生きものがいます。数千の島々からなる国土は南北約3,000kmにわたり、海岸から山岳までの高低差があり、はっきりした四季の変化、火山の噴火や台風などの自然現象、そして人間活動の影響も受けて、多様な生態系が形成され、さまざまな生きものの生活の場となっています。

出典：環境省

その中でも里地里山は、人間が昔から手入れをしながら作り上げた、身近な自然環境です。

里山では、人間が水路を開き、田んぼや畑を耕し、雑木林の手入れをし、そうすることで、さまざまな動植物が生きられる環境が保たれてきました。

昔から、人間は、食べ物や水や燃料など、生活に必要なものはすべて、里山のめぐみからいただき、自然と調和しながら暮らしていたのです。

里山に行ってみよう！

里山でしかみられない自然の中で、生きものや風景を観察し、わたしたちの行動により生きものにどのような影響を与えているかを意識し、生きものがなにを「おもって」いるか考えながら観察をしてみましょう。

「里山はっけん隊！」をはじめよう！！

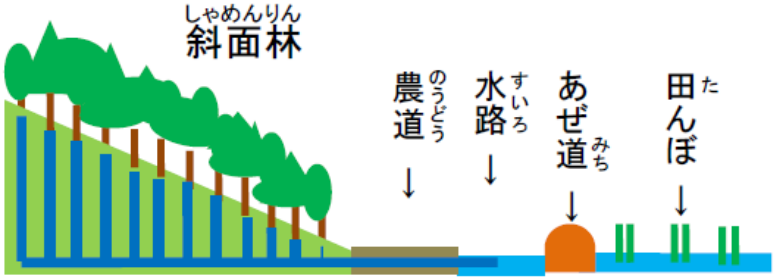
①観察場所を詳しく知ろう

里山では、水辺や草地や樹林など、異なる環境が組み合わさることで、たくさんの生きものが育まれています。今回の「はっけん隊！」は里の家を出発し、たくさんの生きものをはっけんします。

黒米田んぼ（田んぼの水）（①）

黒米田んぼでは、黒米というお米を作っています。黒米とは、稲の原種であり古代米の種類です。黒米の収穫量は普通のお米の3分の1くらいです。

田んぼの水は、谷を縁取る斜面の林を水源としています。田んぼの水は、お米（稲）を作るために欠かせないものです。養分を運んだり、暑い時や寒い時に湿度を調整して稲を守ったりしています。また、田んぼは、食物を作るだけではなく無数の生きものの住みかとなっており、とても重要な役割を担っています。



腰掛神社（②）

芹沢村の鎮守。日本武尊が東征の途中、腰掛けて休んだと伝えられる自然石（腰掛石）が鎮座しています。腰掛神社には、スダジイ、シラカシなどの潜在自然植生の常緑樹に覆われた、市指定の天然記念物があります。

中ノ谷池（③）

大雨の時には、水の流出を抑制する「防災調整池」としても機能します。遊泳には適しませんが、水生生物等を観察することができます。なお、滑るので足元に注意です。

冬には、渡り鳥を見ることができますので、観察してみましょう。

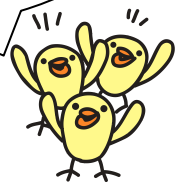
黒米田んぼ

中ノ谷池

①「はっけん！」スタート

ポイントは「おもい」

目だけでなく、耳や鼻も使って、生きものを「はっけん！」しよう！



はっけんポイント①
生きものをはっけんしよう！

いよいよ楽しい観察タイム！はっけんポイントに注目して、見つけたものや場所を「はっけんカード」に記録してね（カードは当日配ります）。

★こんなのいるかな？　どこにいるかな？　なにしてるのかな？

モズ

エナガ

メジロ

カマキリのたまご

キタテハ

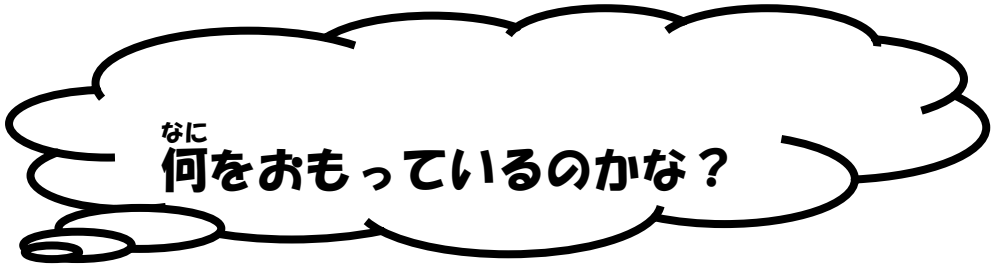
ヤブコウジ

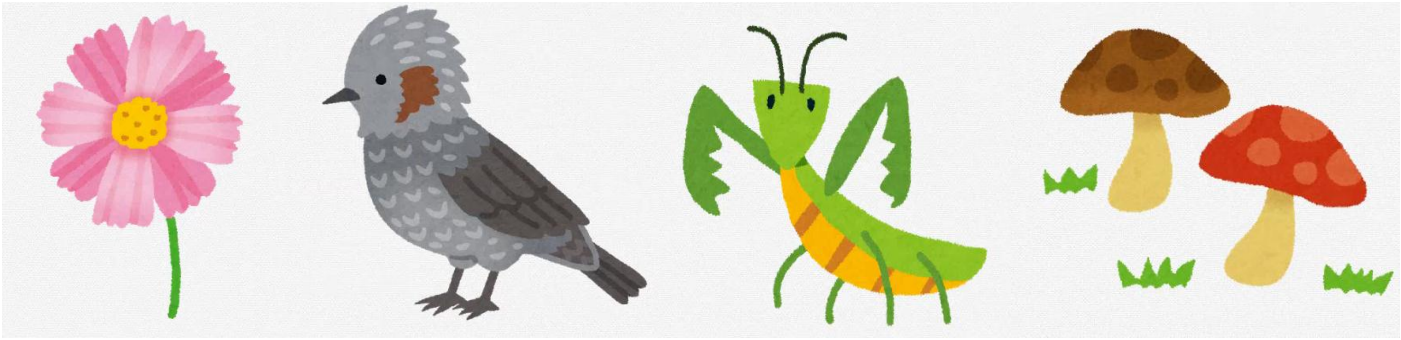
カントウタンポポのロゼット

カメラを持っている
スタッフに声をかけて、
はっけんしたものを写真に撮ってもらおう！！

はっけんポイント②
生きものの「おもい」をはっけんしよう！

みんなに好き嫌いがあるように、生きものにも、食べ物や住む場所に好き嫌いがあります。
生きものの気持ちになって、なぜその生きものがそこにいるのか考えてみましょう。
「生きもの（「植物」「昆虫」「鳥」など）」の「おもい」をはっけんしよう！





③まとめてみよう

作った「はっけんカード」にどんな「おもい」があるか話し合ってみよう。
1グループにつき、1つ「おもい」について発表してね。

いいもの見つけた！

里山たまてばこ

～vol.12　冬～

テーマ

「どんぐり」

どんぐりは、縄文時代において、渋抜きをして食用にしていたと考えられています。その後も飢饉や太平洋戦争直後の食糧難時代によく利用されたのみならず、米の栽培が困難な東北の山村などいくつかの地域では、大正期あたりまで主食格の食品として重要であったと言われています。

そんなどんぐりですが、多くの種類があります。今回は里山公園で見ることができるどんぐりの一部を紹介します。

コナラ

春に花が咲き、その年の秋にどんぐりができます。（１年でどんぐりになります。）

クヌギ

葉は細長くギザギザしています。春に花が咲き、次の年の秋にどんぐりができます。（２年かけてドングリになります。）

スダジイ

木は20m以上の高さにもなります。一般的に、「食べられるどんぐり」とされています。

シラカシ

どんぐりはたまご形でよこしまもようの帽子の形をしています。葉は狭いだ円形でふちはギザギザしています。

今日のレシピ

おうちでつくってみよう！

どんぐりクッキー

どんぐりは、栄養価が高く、縄文時代では貴重な食料でした。スダジイやマテバシイなどアクの少ない「椎の実」はアク抜きせずに食べることができます。そんな「椎の実」を使ったおやつをつくってみよう！

材料（1人分）

・スダジイのどんぐり（皮を剥いだもの）・・・120g
・無塩バター・・・160g
・砂糖・・・100g
・卵・・・80g
・全粒粉・・・200g
・ベーキングパウダー・・・小さじ1

作り方

① スダジイのどんぐりをフライパンでよく煎り、皮を剥ぎ、ミルで細かく砕く。
② バターに砂糖を加え、よく混ぜる。
③ ②に卵を加え混ぜ、そこにふるいをかけた全粒粉、ベーキングパウダーを加えさっくり混ぜます。
④ ③に①を加え、混ぜ合わせてクッキーの生地の出来上がり！
⑤ 冷蔵庫で生地を冷ましてから、型を取り、180℃のオーブンで15分焼く。

今日のお茶

びわ茶の効能

『びわの葉はいろいろな体の不調に良い』という言い伝えがあります。
昔から、体調を崩した時、病気予防などにびわの葉は利用されてきました。

そんなびわの葉を使ったびわ茶は、美肌、ガンの予防、疲労回復などに効果があります。
びわの葉にはカフェインが含まれていないので、小さいお子さんでも飲むことができます。

メ　モ　～自由につかってね！

今日のリーダーの皆さんは柳谷の自然に学ぶ会で毎月第4日曜日に里山公園で自然観察会を行っているぞよ。
（10時～12時、パークセンター集合、事前申込不要、参加無料）
おなじみの達人たちの案内で、柳谷にもっと詳しくなれるぞよ！
（連絡先：事務局長　白田さん 0467-88-5586
会長　野田さん 0467-51-8489